

資料提供	
令和6年 7月30日	
担当	江府町教育委員会事務局 谷田 孝之
電話	0859-75-2223 FAX 0859-75-3411
メール	t.tanida@town-kofu.jp

「全国施設分離型義務教育学校の集い in 江府町」

～施設分離型義務教育学校の可能性を探る～

複数の校舎を活用して1つの学校として教育活動を行う「施設分離型義務教育学校」。その利点を活かした実践等について、江府町教育委員会が主催して、義務教育学校の設置を検討している市町村教育委員会や義務教育学校の職員が集まって協議をしたり、交流したりする集いを行います。それにより、それぞれの市町村、学校において今後の教育実践につなげるとともに、今後の全国の市町村における小中学校の統廃合を見据えて、義務教育学校の在り方を考えていきます。

現在、東は北海道、西は福岡県までの全国各地から約90名の参加申し込みをいただいています。

教育内容の量・質の充実や社会性育成の場としての機能が学校に求められるようになったこと、児童生徒の発達の早期化、「中1ギャップ」、少子化などを背景に、義務教育学校が制度化されました。

年々数が増えている義務教育学校の中で、施設分離型義務教育学校はとても少ない状況です。しかし、施設が分離しているからこそ、それぞれの校舎を、活動面・心理面で結びつけながら、1つの学校として進んでいく環境と校風を創出できることや、それぞれの校舎が程よい距離感を保ち、校舎ごとの独自性も生かしながら、教育効果を高めていくことができます。

その将来性や可能性に期待している自治体も多く、今後の学校形態の在り方の有力な選択肢として考えられます。

ぜひ取材・報道のご協力をお願いいたします。

1 日 時 令和6年8月9日（金）13:00 ～ 16:50

2 主 催 江府町教育委員会
 共 催 国立大学法人鳥取大学
 後 援 文部科学省 鳥取県教育委員会 京都市教育委員会 鳥取市教育委員会

3 会 場 江府町立奥大山江府学園日野川校舎 多目的ホール
 鳥取県日野郡江府町洲河崎85番地
 TEL：0859-75-2120

報道の方の駐車スペースを
 校舎前駐車場に用意します
 ので、ご利用ください。

4 対 象 教職員、教育委員会関係者等

- 5 内 容
- 13:00 開会行事
 - 13:10 講演 「施設分離型義務教育学校の可能性」
講師 本名俊正 氏 (鳥取大学名誉教授)
 - 14:20 奥大山江府学園生徒発表
 - 14:30 奥大山江府学園の取組発表
 - 14:50 鳥取市立鹿野学園の取組発表
 - 15:10 京都市立東山泉小中学校の取組発表
 - 15:40 パネルディスカッション

【コーディネーター】 鳥取大学名誉教授 本名俊正	【パネラー】 江府町立奥大山江府学園校長 景山敬文 鳥取市立鹿野学園校長 高藤淳子 京都市立東山泉小中学校校長 岩田智典
------------------------------------	--
 - 16:50 終了

江府町立奥大山江府学園

○2022年、江府町立江府小学校と江府町立江府中学校を統合して開校した施設分離型義務教育学校。ブナの森校舎は1年生から5年生が、日野川校舎は6年生から9年生が学ぶ。

○令和6年度 児童生徒数:128名

○特設の教科は「ふるさと魅力発信科」で、9年間の系統的な指導と地域との交流を行うことにより、児童生徒が主体的に課題解決を行い、積極的に情報発信する力を育成。



鳥取市立鹿野学園

○2018年、鳥取市立鹿野小学校と鳥取市立鹿野中学校を統合して開校した施設分離型義務教育学校。流沙川(りゅうしゃがわ)学舎は1年生から5年生が、王舎城(おうしゃじょう)学舎は6年生から9年生が学ぶ。

○令和6年度 児童生徒数:227名

○特設の教科は「表鷲科(あらわしか)」で、様々な表現ワークショップや鹿野地域に関わる伝統や文化を学び、表現する力、つながる力、やりぬく力を育成。



京都市立東山泉小中学校

○2014年、京都市立一橋小学校、京都市立月輪小学校、京都市立今熊野小学校、京都市立月輪中学校を統合して開校した京都市東山区にある施設分離型義務教育学校。

西学舎と東学舎があり、西学舎は1stステージにあたる1年生から5年生が、東学舎は2ndステージにあたる6年生から9年生が学ぶ。

○令和6年度 児童生徒数:749名

○文部科学省「授業時数特例校制度」による特例校の指定

